



### 福島小学校の取り組み

## 「六年総合的な学習」から郷土を考える

この二年間、「甘楽町かるた」を足掛かりとして福島地区の魅力を考えてきました。ここでは、その取り組みを紹介します。



福島小HP

福島小学校  
校長 新井綱人  
児童 154人



▲学校給食の碑を調査

まず、学校給食の碑と栄養給食を始めた斎藤寿雄さんのことについてみんなで調べ、各自でまとめました。今はグループで課題を決めて活動中です。(左ページの郷土学習の取り組みをご覧ください)

### 2022年度の取り組み

#### 福島地区の魅力発信

三年前から全児童に一人一台タブレット端末が配付され、学習に使うツールとして加わりました。デジタルを効果的に使うことで、児童の発表の選択肢が広がりました。

昨年度の六年生は、自分たちの住んでいる福島地区に目を向けて、三・四年生に伝えたい郷土の文化・伝統などを調べてまとめる活動をしました。

「甘楽町かるた」の札にある福島地区の事柄を中心に、方言や伝説などが個人やグループのテーマとして設定されました。

発表作品のいくつかは、昨年八月から始まった「かんらまち電子図書館」の甘楽町の資料のコーナーに載せてあり、誰でも借りて読むことができます。



「かんらまち電子図書館」の町の資料ページは「このページ」

### 甘楽町の魅力を伝えよう

#### 学校給食と給食の碑について

浅野友香

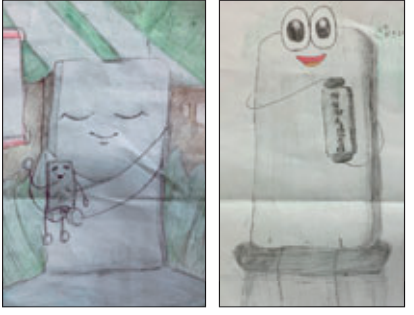
**昔のご飯**  
斎藤寿雄さんは、学校でお弁当のおかず調べをした。その結果約70%が梅干、野菜の漬物だけのおかずだった。

**日本で最初の栄養給食**  
昭和7年12月福島小学校で栄養のある学校給食を斎藤寿雄さんがつくった。

**多井戸地区と栄養給食のつながり**  
斎藤寿雄さんは、はじめに多井戸地区の栄養改善の仕事をした。地域の人はたいへん喜び、それを知った他の地域の人が「栄養給食を取り入れてほしい」と町に意見を出し、福島小学校で栄養給食がはじまった。

**給食の碑は記念**  
給食の碑は、昭和9年に、学校給食部視察のために、久松待従が来校したのを記念してたてられた碑。

今年度の六年生は「かるたには載っていないけれど、福島小学校にしかないものは何か」ということに注目し、「日本で最初の栄養給食を始めた福島小学校」について、たくさんの方に伝えようということになりました。



▲児童が考えたキャラクター「せきひらい」(左)と「せきひでお」(担当：大内・勅使川原・松本)

◀グラフィックデザインツール【Canva】で児童が作成した作品



▲斎藤寿雄さんと栄養給食についての紹介動画を作成(担当：浅野、高井)



▶学習の様子

## 提言

### 甘楽町の魅力発見



福島小学校  
教頭 清水 明弘

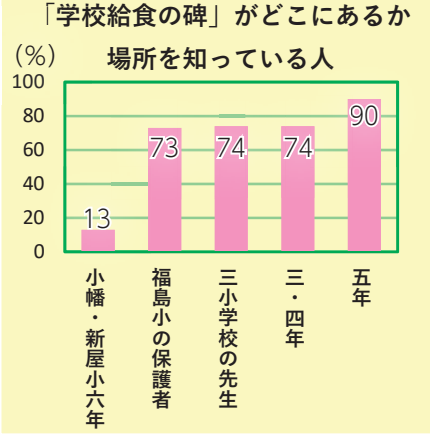
懐かしい福島小学校に四月より教頭として赴任いたしました。甘楽町にはとても縁があり、教員人生のうち二十年と、長く甘楽町の教育に携わらせていただいています。

せながら、子どもたちが課題を自ら考え決定し学習を進めています。

六年生では、総合的な学習の時間の課題を「福島のおよさを発信しよう」として探究学習を行っています。教科書のない教科横断的な学習ですが、三十一人の多様な疑問や考え方を生かして、さまざまな体験活動を行い、実践することにより、生き抜く力を身に付けることができます。また、これからの時代を生き抜くためには人と人のコミュニケーションが必要であり、よりよい人間関係を築くこと、自分自身を高めていくことが求められます。うまくいかないこともあると思いますが、くじけず立ち上がるたくましい心を持つてほしいと考えます。

町の素晴らしい文化や自然、歴史など豊かな地域教材を活用し、子どもたちがたくましく生きる力を育くめるよう力を尽くしていきたいと考えています。今後ともご協力・ご支援よろしくお願いたします。

### 6年「総合的な学習の時間」郷土学習の取り組み



ぼくたち六年一組は、総合的な学習の時間で、栄養給食が福島小で始まったことをより多くの人に伝えるためにプロジェクトを立ち上げました。その第一歩として、どのくらいの人を知っているのかアンケートを行いました。対象は、福島小一〜五年生と保護者、小幡小と新屋小の六年生、町内の小学校の先生、約三百二十人です。保護者は約九割の人が回答してくれました。小幡・新屋小の六年生で、給食の碑について知っている人は13%でした。保護者は73%、先生は74%で、三・四年生と同じくらいでした。

栄養給食を作るために力を尽くした斎藤寿雄さんのことを知っている人は、五年生が20%、保護者は18%、三小学校の先生は53%でした。驚いたことに、保護者の中には小学校の時に斎藤さんのことを劇にして演じた人がいました。福島小学校以外の人はあまり学校給食の碑や栄養給食のことについては知らないということがはつきりしました。また、一番知られていないのは、栄養給食の父といってもいい斎藤寿雄さんのことでした。この結果から、ぼくたちは栄養給食発祥の学校であること、功労者の斎藤寿雄さんのことをもっとたくさんの人に知ってもらおうと話合っています。具体的には、新聞やリーフレット、絵本、地図やキャラクターを作る、そして、それらをホームページに載せたり、道の駅においてもらったりして、楽しく知ってもらえるようにそれぞれが頑張っています。たくさんの方に栄養給食発祥の学校、そしてそれに貢献した斎藤寿雄さんのことを知ってほしいと思っています。完成したら、学校のホームページで紹介したり、町内で手に取れるようにしたりしますので、ぜひ楽しみにしてください。

(広報かんら担当：大塚、田村、山口)